

## 安心・安全なブロック塀

### はじめに

ブロック塀は狭い国土のわが国において、建物の外構構造物として防犯、防火やプライバシーの確保にとっても役立っています。また、施工性という面からも、手軽で加工しやすいのが特徴です。ブロック塀がこれほど普及したのもそのためです。

その反面、**地震など**での倒壊事例が報告され、ブロック塀の安全性が危惧されているのも事実です。

しかし、地震などで倒壊したブロック塀の主たる原因は、**不適切な設計・施工**および**経年変化による性能低下**であると考えられます。ブロックはしっかりと定められた基準どおりの設計、施工を行えば、地震にも強く、耐久性、経済性にも優れた建設資材であります。

正しい基準のもとに工事が行われ、「**安心で安全なブロック塀**」として認知していただけるよう努めていくことが、私共ブロックメーカーとしての責務であります。



### ブロック塀の厚さ (コンクリートブロック塀設計基準)

高さ 2m 以下のブロック塀 → 厚さ 120mm 以上のブロックを推奨します。

高さ 2m を超えるブロック塀 → 厚さ 150mm 以上のブロックを推奨します。

## 安心・安全な ブロック施工

## 天端には 横筋ブロックで補強

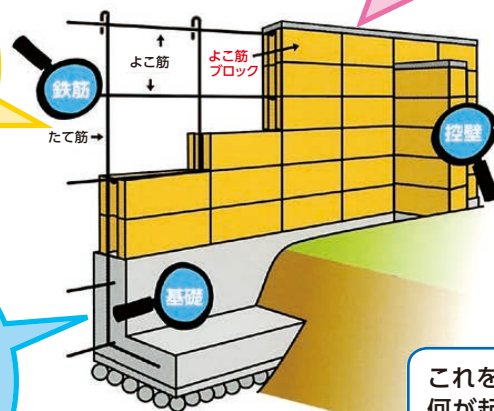
天端には必ず横筋用ブロックを使用し  
縦筋と横筋を結束します。

### 鉄筋での補強 きちんとされていますか？

よこ筋は、壁の長さ方向を一体とするもの。たて筋は、壁にかかる力に抵抗する重要なものです。

### 基礎の深さ 十分ですか？

塀の基礎は鉄筋コンクリートやCP型枠擁壁でしっかり造り、塀と一体となって転倒しないように、35cm以上地中に埋めます。



### 控壁 付いていますか？

塀の転倒に対する抵抗力を強くするため、控壁という補強用の壁を長さ3.4m以内毎につくります。

これを守って、  
何が起きても瞬時に倒れない  
ブロック塀を造ろう!!

耐震 耐久 防火

(社) 全国建築コンクリートブロック工業会